

2024年度 徳島文理大学 理学療法学科 卒業生アンケート調査結果報告書

調査概要

○ 調査目的

本アンケートは、このアンケートは、私たちの教育プログラムが卒業生に与えた影響を評価し、今後の教育改善に役立てることを目的としています。私たちは、教育機関として、様々な教育活動を行っています。しかし、実際に卒業後にどのように役立っているのかを知るためには、卒業生の皆様からのフィードバックが必要不可欠です。

アンケートは4つの主要なテーマに分かれています。まず、「大学での学びに関する項目」では、講義や実習が臨床現場での実践にどの程度寄与しているかをお伺いしますカリキュラムの質や教員からのサポートの評価を行い、今後の授業内容の改善に役立てたいと考えています。次に、「生活サポートに関する項目」では、在学中の生活環境やメンタルヘルスサポートについての満足度を測ります。学生生活がどれほど充実していたかを把握することで、将来的な学生サポートの向上を目指します。さらに、「就職活動に関する項目」では、教員や職員からのサポートがどの程度役立ったのかを評価します。大学がどのように貢献できたかを確認することで、今後の支援体制を見直す手助けとなります。

最後に、「生活の充実度」に関する項目では、卒業生の現在の生活状況や職場でのストレスについての意見を収集します。卒業生の生活の質を向上させるために、必要なサポートやリソースを明らかにしたいと考えています。

このアンケートを通じて得られたデータは、私たちの教育プログラムの改善に繋がるだけでなく、卒業生自身の今後の成長にも寄与するものと信じています。

○ 調査対象

2021年3月卒業生から2023年3月卒業生

○ 調査期間

2024年9月18日（水）～2024年9月29日（日）

○ 調査方法

理学療法学科同窓会およびゼミ担当教員よりメール等を利用して依頼。

回答はGoogle formを利用。

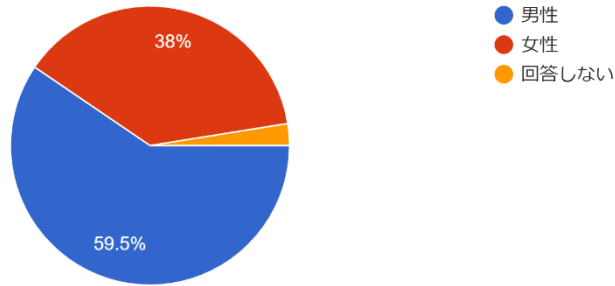
○ 回答率

79 / 160 (49%)

基本情報

性別

性別



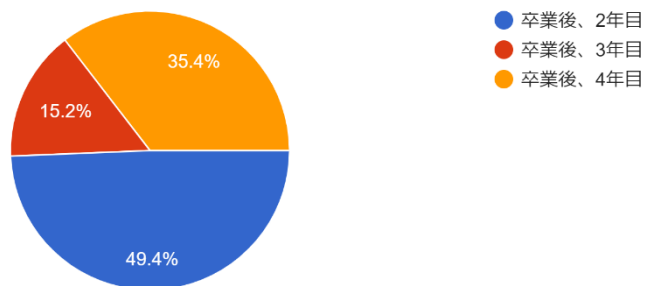
男性 47 (59.5%)

女性 30 (38%)

回答しない 2 (2.5%)

卒業年数

卒業年数



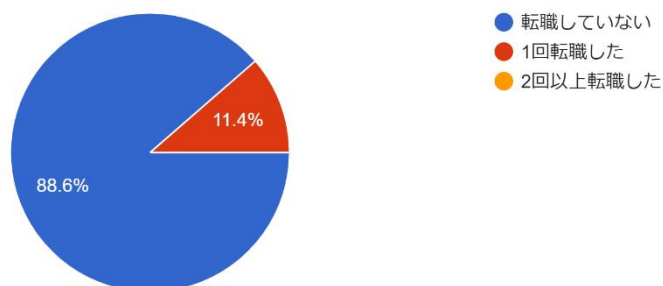
卒業後 2 年目 39 (49.4%)

卒業後 3 年目 12 (15.2%)

卒業後 4 年目 28 (35.4%)

転職の有無

転職の有無



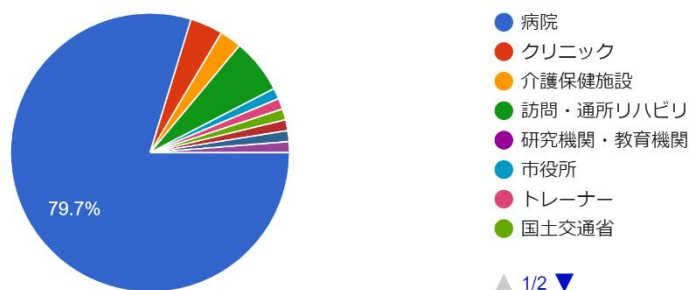
転職していない 70 (88.6%)

1回転職した 9 (11.4%)

2回以上転職した 0

現在の職場

現在の職場



病院 63 (79.7%)

クリニック 3 (3.8%)

介護保健施設 2 (2.5%)

訪問・通所リハビリ 5 (6.3%)

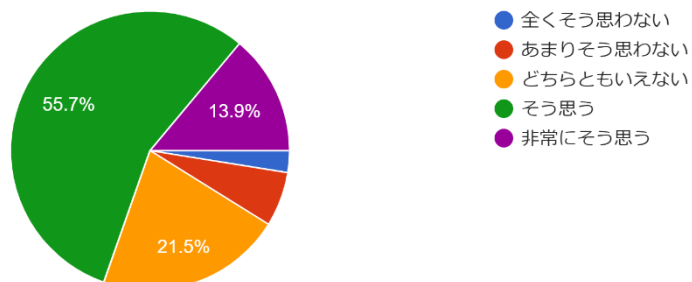
研究・教育機関 0

その他 6 (7.7%)

1.大学での学びに関する項目

・ 日常業務で、リハビリに関する基本的な知識を使って適切に対応できていますか？

1.日常業務で、リハビリに関する基本的な知識を使って適切に対応できていますか？



全くそう思わない 2 (2.5%)

あまりそう思わない 5 (6.3%)

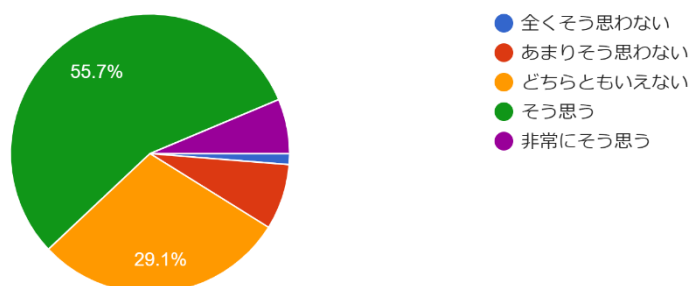
どちらともいえない 17 (21.5%)

そう思う 44 (55.7%)

非常にそう思う 11 (13.9%)

・ 健康や障がいについて、必要な情報を効果的に集めて活用できていますか？

2.健康や障がいについて、必要な情報を効果的に集めて活用できていますか？



全くそう思わない 1 (1.3%)

あまりそう思わない 6 (7.5%)

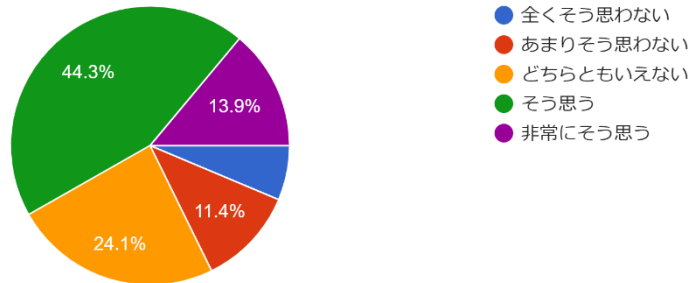
どちらともいえない 23 (29.1%)

そう思う 44 (55.7%)

非常にそう思う 5 (6.3%)

・新しいリハビリの知識や技術に興味を持ち、それを学び続ける意欲がありますか？

3.新しいリハビリの知識や技術に興味を持ち、それを学び続ける意欲がありますか？



全くそう思わない 5 (6.3%)

あまりそう思わない 9 (11.4%)

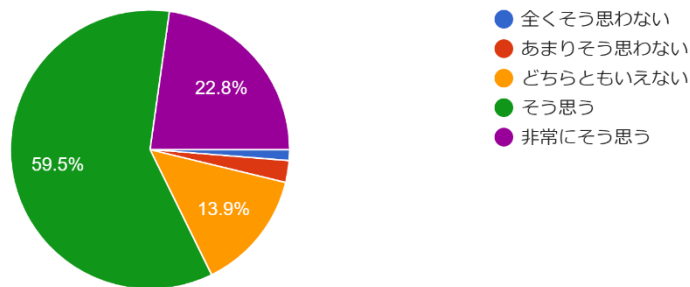
どちらともいえない 19 (24.1%)

そう思う 35 (44.3%)

非常にそう思う 11 (13.9%)

・仕事で出会う問題に対して、論理的に考え、他の人と協力して解決できていますか？

4.仕事で出会う問題に対して、論理的に考え、他の人と協力して解決できていますか？



全くそう思わない 1 (1.3%)

あまりそう思わない 2 (2.5%)

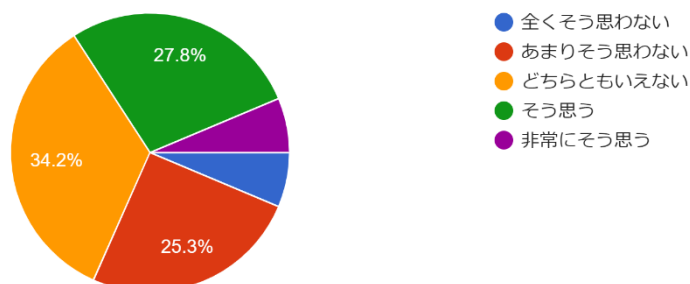
どちらともいえない 11 (13.9%)

そう思う 47 (59.5%)

非常にそう思う 18 (22.8%)

・自分が持っているリハビリの知識や技術を、他の人にわかりやすく伝えることができますか？

5.自分が持っているリハビリの知識や技術を、他の人にわかりやすく伝えることができますか？



全くそう思わない 5 (6.3%)

あまりそう思わない 20 (25.3%)

どちらともいえない 27 (34.2%)

そう思う 22 (27.8%)

非常にそう思う 5 (6.3%)

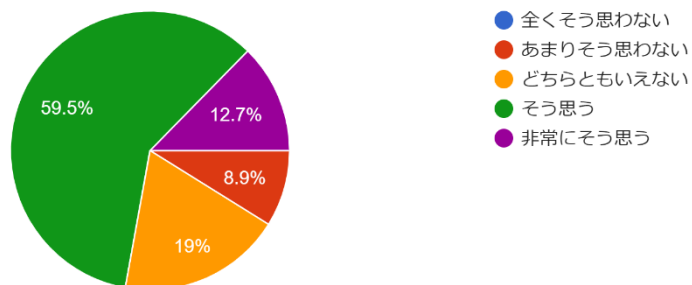
大学での学びに関する総評

アンケートの結果から、多くの卒業生がディプロマポリシーに沿ったリハビリテーションに関する基本的な知識や問題解決力を活用できていることが確認されました。しかし、情報の収集・活用能力や新しい技術に対する学習意欲、他者への知識・技術の伝達能力に関しては、一定数の卒業生が中立的な立場や否定的な評価をしており、これらのスキルのさらなる強化が今後の課題といえます。伝達能力や情報活用能力に関する支援を強化することを検討いたします。

2.生活サポートに関する項目

・大学の生活環境は、快適な学生生活を送る上で十分でしたか？

1.大学の生活環境は、快適な学生生活を送る上で十分でしたか？



全くそう思わない 0

あまりそう思わない 7 (8.9%)

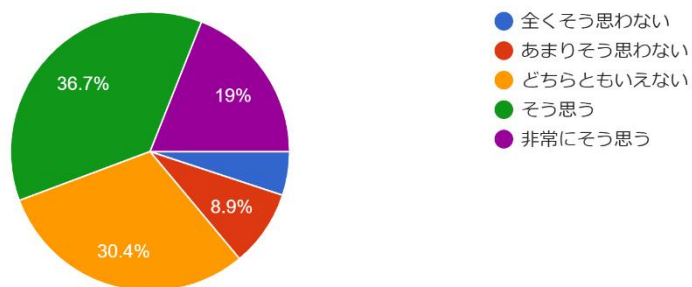
どちらともいえない 15 (19.0%)

そう思う 47 (59.5%)

非常にそう思う 10 (12.7%)

・経済的支援（奨学金、学費免除等）は、学業に集中するための助けになりましたか？

2.経済的支援（奨学金、学費免除等）は、学業に集中するための助けになりましたか？



全くそう思わない 4 (5.1%)

あまりそう思わない 7 (8.9%)

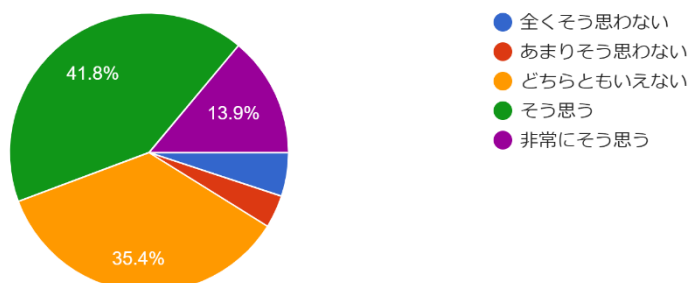
どちらともいえない 24 (30.4%)

そう思う 29 (36.7%)

非常にそう思う 15 (19.0%)

・教員・職員のメンタルヘルスサポートは、悩みの解消に役立ちましたか？

3.教員・職員のメンタルヘルスサポートは、悩みの解消に役立ちましたか？



全くそう思わない 4 (5.1%)

あまりそう思わない 3 (3.8%)

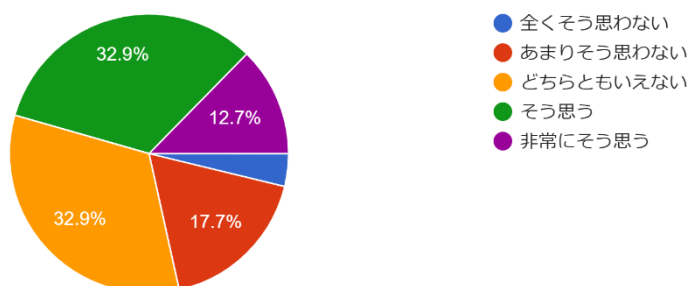
どちらともいえない 28 (35.4%)

そう思う 33 (41.8%)

非常にそう思う 11 (13.9%)

・学生生活の中で、学生間のコミュニケーションや連携に自分は貢献しましたか？

4.学生生活の中で、学生間のコミュニケーションや連携に自分は貢献しましたか？



全くそう思わない 3 (3.8%)

あまりそう思わない 14 (17.7%)

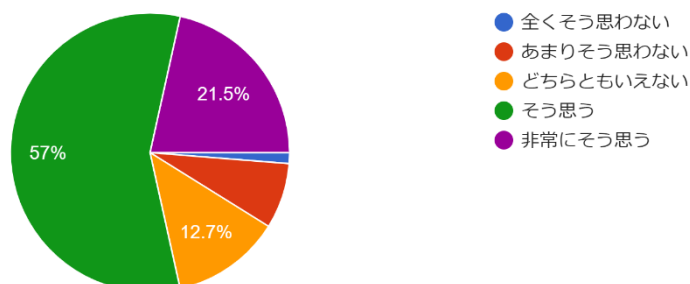
どちらともいえない 26 (32.9%)

そう思う 26 (32.9%)

非常にそう思う 10 (12.7%)

・大学内の施設（図書館、スポーツ施設、食堂など）は、快適に利用できる環境でしたか？

5.大学内の施設（図書館、スポーツ施設、食堂など）は、快適に利用できる環境でしたか？



全くそう思わない 1 (1.3%)

あまりそう思わない 6 (7.6%)

どちらともいえない 10 (12.7%)

そう思う 45 (57.0%)

非常にそう思う 17 (21.5%)

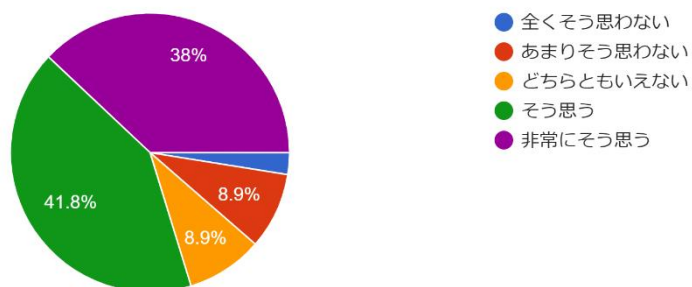
生活サポートに関する総評

全体として、大学生活や環境に対する満足度は高いといえます。特に生活環境や大学施設に関しては多くの卒業生が肯定的な評価をしています。一方で各項目、中立的な評価をしている卒業生が多く、今後の改善やさらなる取り組みが必要かもしれません。この結果は、学生がより快適に学業に専念できるよう、支援制度や環境の強化が重要であることを示しています。

3.就職活動に関する項目

・大学の教員・職員のサポートは、就職活動において役立ちましたか？

1.大学の教員・職員のサポートは、就職活動において役立ちましたか？



全くそう思わない 2 (2.5%)

あまりそう思わない 7 (8.9%)

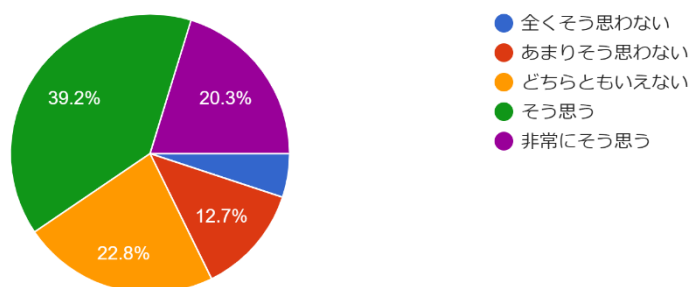
どちらともいえない 7 (8.9%)

そう思う 33 (41.8%)

非常にそう思う 30 (38.0%)

・就職活動における情報提供（求人情報、セミナーなど）は、充実していたと感じますか？

2.就職活動における情報提供（求人情報、セミナーなど）は、充実していたと感じますか？



全くそう思わない 4 (5.1%)

あまりそう思わない 10 (12.7%)

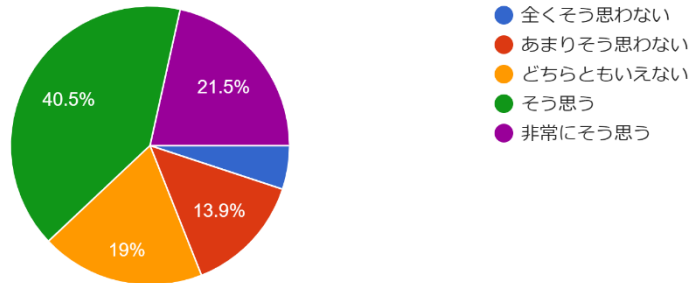
どちらともいえない 18 (22.8%)

そう思う 31 (39.2%)

非常にそう思う 16 (20.3%)

・大学での実習の経験は、就職活動において有利に働いたと感じますか？

3.大学での実習の経験は、就職活動において有利に働いたと感じますか？



全くそう思わない 4 (5.1%)

あまりそう思わない 11 (13.9%)

どちらともいえない 15 (19.0%)

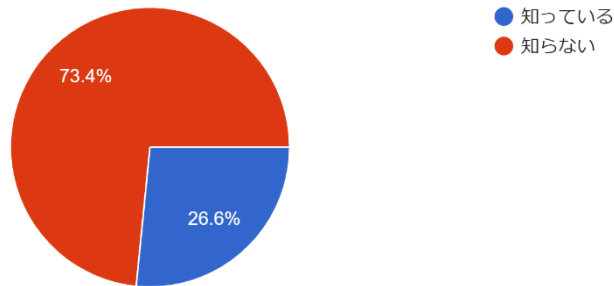
そう思う 32 (40.5%)

非常にそう思う 17 (21.5%)

・卒業後も大学からのサポートやアドバイスを受けられることを知っていますか？

4. 卒業後も大学からのサポートやアドバイスを受けられることを知っていますか？

79 件の回答



知っている 21 (26.6%)

知らない 58 (73.4%)

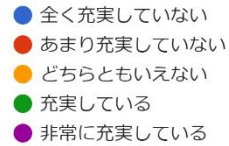
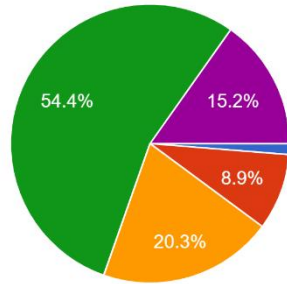
就職活動に関する総評

全体的に、大学の教員・職員によるサポートや実習経験は就職活動において役立っていると多くの卒業生が感じています。しかし、特に理学療法士の充足率が高いエリアの情報提供や卒業後のサポートに関する周知には改善の余地があると考えております。

4.生活の充実度に関する項目

・現在の生活は充実していますか？

1.現在の生活は充実していますか？



全く充実していない 1 (1.3%)

あまり充実していない 7 (8.9%)

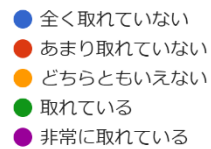
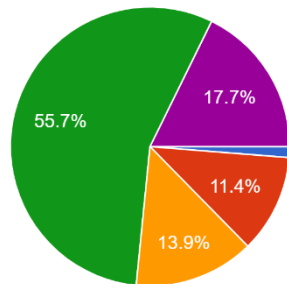
どちらともいえない 16 (20.3%)

充実している 43 (54.4%)

非常に充実している 12 (15.2%)

・仕事とプライベートのバランスは取れていますか？

2.仕事とプライベートのバランスは取れていますか？



全く取れていない 1 (1.3%)

あまり取れていない 9 (11.4%)

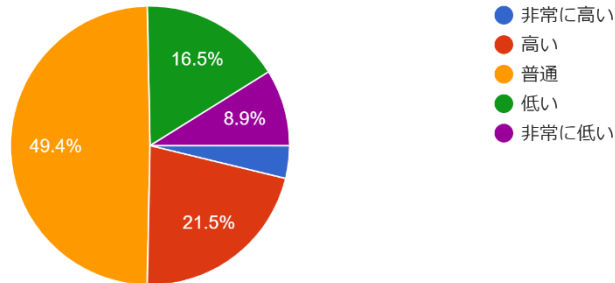
どちらともいえない 11 (13.9%)

取れている 44 (55.7%)

非常に取れている 14 (17.7%)

・現在の職場でのストレスはどの程度感じていますか？

3.現在の職場でのストレスはどの程度感じていますか？



非常に高い 3 (3.8%)

高い 17 (21.5%)

普通 39 (49.4%)

低い 13 (16.5%)

非常に低い 7 (8.9%)

生活の充実度に関する総評

全体として、多くの卒業生は現在の生活に満足し、仕事とプライベートのバランスも取れていると感じていますが、ストレスについては一定の課題が見られます。雇用主向けアンケートでも見られたように高ストレスが発生するのは致し方ない環境が存在するため、セルフケアの方法の発信やプロフェッショナルなサポートの活用の啓発が必要かと思われます。